

一般社団法人 日本福祉協議機構

SDGsの取組

取組・活動内容	一般社団法人日本福祉協議機構では、「福祉をアップデートする」を目標に一般的な福祉サービス提供以外、私達の職員、そしてその家族へも“世界のみんなの明るい未来”を共有して頂きたいという思いから、“SDGsを体感する”という着想に至り、産官学連携によるグローバルな協働事業（例.タイ、インドネシア、カンボジア支援等）に取り組んでおります。私達の取組みのキーワードは、SDGs4(教育)を基盤とし、1(貧困),2(飢餓ゼロ),3(健康),8(働きがい),10(差別解消),11(まちづくり),15(自然),16(平和と公正),17(パートナーシップ)を掲げ、下記の取組みを行っています。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
経済	4(教育) 1(貧困) 2(飢餓ゼロ) 3(健康) 8(働きがい) 10(差別解消) 11(まちづくり) 15(自然) 16(平和と公正) 17(パートナーシップ)	(1)プロジェクト名「アペロヒューレ」 4年連続最低賃金以上の工賃を実現する就労継続支援B型×世界の植物と昆虫ショップ事業 (2)プロジェクト名「日本国際財団」 開発途上国の人々についてSDGsに基づいた社会貢献活動を行う事業	(1)プロジェクト名「アペロヒューレ」 (2)プロジェクト名「日本国際財団」 (共に2年以内) (1)(2)連動し、障害者雇用の形を国際的な普及強化を行う。 目標は、タイ、インドネシア、カンボジア、インド4カ国への海外進出
社会	4(教育) 1(貧困) 3(健康) 8(働きがい) 10(差別解消) 11(まちづくり) 17(パートナーシップ)	(1)プロジェクト名「Jobs college」 生活困窮者、障がい児者へ、地元企業連携の下、行われる新しい障害者就労移行事業。 (2)プロジェクト名「Edges」 マインクラフトを通じた特別支援学校プログラミング教育事業。	(1)プロジェクト名「Jobs college」 今年度現状利用者数14名を次年度20名へ増やし、普及・就労強化を行う（1年以内）。 さらに、次店舗展開を行う (2)プロジェクト名「Edges」（1年以内） 今年度1校の継続支援と他校支援を増やし、普及・教育強化を行う
環境	4(教育) 1(貧困) 3(健康) 15(自然) 17(パートナーシップ)	(1)プロジェクト名「互いの森プロジェクト」 豊田足助の大森林を通じた児の健やかな健康教育（森林探索）と機会提供事業の促進 (2)プロジェクト名「サバイバルキャンプ」 豊田足助の大森林を通じた児の健やかな健康教育（キャンプ）と機会提供事業の促進	(1)プロジェクト名「互いの森プロジェクト」（1年以内） 今年度利用者数10名を次年度20名へ、開催回数を1回/年から、3回/年増やし、普及・就労強化を行う。 (2)プロジェクト名「サバイバルキャンプ」（1年以内） 今年度利用者数10名を次年度20名へ、開催回数を1回/年から、3回/年増やし、普及・就労強化を行う。